

■公共図書館での実践事例

マルチメディアDAISY図書の活用と普及のための取り組み

東京都墨田区立ひきふね図書館
田中 彩子

はじめに

墨田区立図書館では、1970年代から障害者サービス事業を実施しています。現在は、障害者資料の貸出をはじめとして、障害者施設への出張貸出やお話会の実施、DAISY図書の製作やボランティアの育成などを行っています。コロナ禍の影響を未だ受けている事業もありますが、状況を確認し工夫しながら対応しているところです。今回は、2022年中に実施したマルチメディアDAISY図書の活用と普及のための活動についてご紹介します。

マルチメディアDAISY図書の活用と普及のための

取り組み事例

(1) としょかんたんけんツアー

2021年から、図書館の利用に障害のある児童・幼児のための図書館ツアー「としょかんたんけんツアー」を開始しました。当館の「こどもとしょしつ」を出発し、マルチメディアDAISY図書のあるボランティアルームまで移動しながら、どんな図書がどこにあるか、

どのように利用するかをスタンプラリー形式で体験するイベントです。1回につき、児童・幼児とその保護者1組ずつが参加します。ツアーの最後に、iPadを実際に操作して図書を選び、読む活動を行います。

今回の参加者で、字を読むことができない小学生がいました。ふだんは児童が表紙の絵を見て本を選び、保護者が読み聞かせを行っているとのことでした。図書館員の案内で、iPadを自分で操作しながらマルチメディアDAISY図書を選び、保護者の補助なく、読んでいました。画像と音声があることで、一人でも集中して最後まで読めるものですねという声が聞かれました。



としょかんたんけんツアー

(2) 放課後等デイサービス事業所と リモートお話し会

今年度も、放課後等デイサービス事業所「スマートキッズプラス押上（スマートキッズプラス錦糸町より改称）」へのお話し会を夏休みにリモートで行うことになりました。

絵本などの読み聞かせのほか、昨年好評だったマルチメディアDAISY図書も含めて20分程度のお話し会をというご要望でした。

参加予定児童は、低学年から高学年までの男女6名、テーマは「夏」、子どもたちは食べ物・乗り物・あまり怖くない怪談が好きで、クイズや問いかけがあるのが楽しめることと施設職員の情報があり、それを選書の参考として、ボランティアによる本の読み聞かせ2冊とマルチメディアDAISY図書1冊というプログラムとしました。

前日の同時刻のリハーサルにおいて、インターネット接続の手順や状況、事業所のプロジェクターに当館からの映像が見やすく投影されているか、子どもたちが視聴する際の妨げとなるような映り込みがないか、音声は明瞭に聞き取れるか、円滑に進行できているかなどの確認調整を行いました。



リモートお話し会

マルチメディアDAISY図書は、『まさか!』を上映しました。バッタやカブトムシなど、夏に成虫になる昆虫が出てくること、また、シルエットクイズや言葉遊びの要素があり、学年幅に対応できるのではと考えたからです。上映中、こちらからは事業所の様子を見ることができます。画面から消えてしまう子どもは一人もおらず、スクリーンを見て、シルエットの答えがわかると笑顔で指をさしている様子が見てとれました。

事業所の先生から「ふだんは10分と座ってられず、走り回っていることが多い子どもも、お話し会の間ずっと座ったままスクリーンを見ていて、驚きました」との感想が聞かれました。長期休暇を中心に、今後もお話し会を開催してほしいとのことでした。

(3) パンフレットなどの作成と配布

当館では、児童発達支援・放課後等デイサービス事業所の職員の方と、通

所児童の保護者の方をそれぞれ対象としたパンフレット『障害がある子どもたち向けの図書とは すべての人に読書のよろこびを』を作成し配布しています。さわる絵本、しかけ絵本、大きな文字の本、LLブック、そしてマルチメディアDAISY図書について、説明するとともに、数冊ずつ紹介しています。今年も、学校図書館担当教諭研修会においても施設職員向けパンフレットを資料として配り、概要を説明し、学校図書館活動での参考としていただきました。



パンフレット『すべての人に読書のよろこびを』

(4) 障害者週間における展示

毎年、障害者週間に合わせ、当館では特別展示を行っています。今年も、11月18日からさまざまな障害者資料とともに、マルチメディアDAISY図書を展示しました。

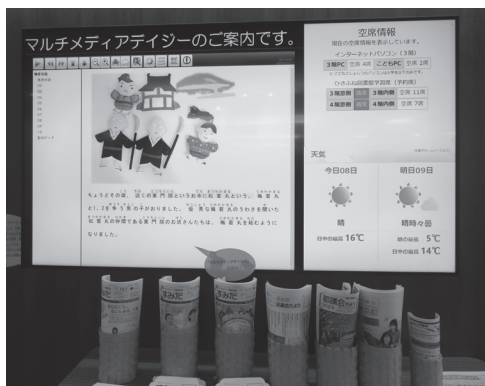
マルチメディアDAISY図書の一部は、障害の有無にかかわらず利用できることも表示し、その場での貸出ができるようにしました。あわせて、ブックリ

スト『本を読むのに障がいのある人のための資料』を配布しました。こちらも前述のパンフレットと同様に、マルチメディアDAISY図書について記載しています。

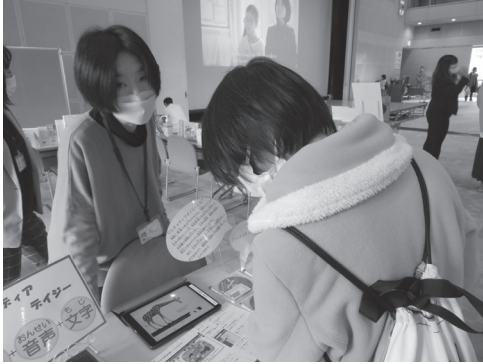
また、展示スペース横にあるデジタルサイネージで、1時間ごとに、マルチメディアDAISY図書とはどんなものかの案内を流した後、2021年に当館で作成したマルチメディアDAISY図書『梅若伝説』を上映しました。入館して正面にある86インチの大きなディスプレイの画像は目を引き、立ち止まって見ていかれる来館者もいました。



障害者週間の展示の様子



デジタルサイネージでの上映



スマイル・フェスティバルの様子

障害者週間初日に、当区障害者福祉課と墨田区障害者団体連合会の共催で実施された「すみだスマイル・フェスティバル」においても、マルチメディアDAISY図書の展示とiPadによる試視聴を行いました。来場者の方に実際に操作していただきながら、読み上げて

いるフレーズに色がついていることや、読み上げスピードや文字の大きさを変えることができることを、説明しました。

さいごに

当区では、児童・生徒へ1人1台タブレットが配布され、電子書籍への敷居も低くなっています。マルチメディアDAISY図書は、通常の書籍を読むことが困難でも、個々の状況に応じて、調整しながら読むことができるツールであり、デジタルネイティブの子どもたちへの親和性が高いと考えられます。これからもマルチメディアDAISY図書の普及へ向け、周知の機会を捉え、啓発していきたいと思えます。

